

てげてげ
ミュージックライフ通信

発行 Office Vinotheque 久留米市日吉町12-63 0942(39)1514 <http://moyai.org/vino/>

マニフェスト

てげてげ宣言 — 大げさなご挨拶 —

突然ではございますが、このたび「てげてげミュージックライフ通信」なる「ミニ」の懐かしい響きです(を)を発行することになりました。へが少し曲がっている私たちは、インターネット全盛の世の中であえて紙に印刷した「ミニ」というスタイルでいくことにしました。細く永くをモットーに続けていくつもりですので、どうか応援よろしくお願いします。

あえて古臭い通信」という言葉をタイトルに採用したのは、大分県中津市のピンボー作家松下竜一さんの「草の根通信」からいただきました。ありふれた自然や平和でフツウの暮らしをしたかっただけに、そんな当たり前のことを求めるために環境権」を掲げ、生涯をかけて闘わざるを得なかった松下さんの「ボンネ」の通信は購読料とカンパで赤字を出すことなく、松下さんが「くなられた今年まで31年も続きました。そんな持続する志」を私たちも見習いたいと思います。

なお、タイトル「てげてげ」のことですが、宮崎あたりでよく使われる方言です。「大概(たいがい)が「テーゲー」になって、それを重ねて「てげてげ」という言葉になったのではないかと思います。意味は「物事の程度があまり極端にならないこと。ある程度でやめておくこと。また、そのさま。ほどほど」といったところですか。決して「いい加減」ということではありません。随分昔に出たレコード「ぼちぼちいこか」(上田正樹と有山じゅんじ)の「ぼちぼち」が感覚的には近いのではないかと思います。

私は「オールタナティブ」という言葉をどうにか分かりやすく伝えたいと思ってこの「てげてげ」なる言葉を使っています。「オールタナティブ」とは辞書には代替案、代替手段、代わりとなるもの、「九〇年代のカウンターカルチャーを指す言葉」と書かれています。よくCDの曲名の注釈に「オールタナティブ(別テイク)」と書かれているアレです。

「てげてげオールタナティブ」は共産主義とか資本主義とか体制の選択ではなく、もう一つ別の生き方暮らし方の提案であり実践なのです。それは「しなやか」で「したたか(タフ)」な生き方で、またスローであり、シンプルであり、スモールというような言葉に置き換えることも可能な生き方です。

次回から「コーナー」を一枚もらって「てげてげ」を具体的に「てげてげ」紹介していきたくと思っています。どうぞよろしくお願いします。

こんな大袈裟なあいさつを書いておけば早々に廃刊になることはなかると思うのですが…。

(tomichu)



『ぼちぼちいこか』
上田正樹と有山じゅんじ

1975年に出たLP。その後CD化されたが、今は廃盤になっているのか、オークション等では高値で取引されているようだ。

上田正樹のHP

<http://www.chica.com/masaki/>

有山じゅんじのHP

<http://ariyamanayoru.web.infoseek.co.jp/>



『草の根通信』
中津の作家・松下竜一編集

1973年4月に「豊前火力絶対阻止・環境権訴訟をすすめる会」の機関誌として発刊された。廃刊となった今年まで31年380号が発行された。

小説

麻里のデッドヘア

美 乱調

「へーっ。デッドヘアって 臨死体験から生まれたんですかあーっ」
「トリビアの泉のめぐみのように麻里は、カウンターの前にあったコスターを叩きまくりながら言った。

麻里の大好きなぬいぐるみグレイトフルデッドヘア。五、六年前からおもちゃ屋やファンシーグッズの店、はたまたドンキホーテやJ.Rの売店にも生息地を広げ、車の窓越しにもよく見かける。日本ではほとんど知られていないが、一九六〇年代にヒッピーの力リスバンドとなったザグレイトフルデッドのマネージャトキヤラクターのひついで、さまざまなサイケ紋様のヘアたちが相当数出ていた。

麻里にとって愛嬌あふれるその姿と死後の世界といったオカルトとは思ってもよらないイメージの出会いだったのだ。

「おっけっけっけウケた」と内心、気を良くした俺——
「デッドって死、っていう意味だよ。ファンシーなキヤラクターの名前としては、何か変だと思わなかったあ？」

「死んだ熊ですかあー？ ぜんぜん、気にもとめてなかった。つまり、天国から来た熊ちゃんたちってことあ？」

「妖精とか精霊の仲間だよ。普通は、目に見えない幻想の世界に住んでるワケ。LSDっていつドラッグは知ってる？」

「トリップすると幻覚を見るとかは聞いたことある」
サイケデリックなアートと起爆剤になったのはよく知られてるけど、ところが幻覚とかもつ全然それくらいじゃなくて、あの世まで本当に行っちゃったらしいんだよ。ぼくも十年くらい前に、ティモシー・リアリーといつ人が書いた『デッドの死者の書』を読んで気がついたんだけど」

「それでグレイトフルデッド……」
「日本語に訳すと、感謝する死者って感じかな」

「サイケデリックな熊ちゃんたちとトリップしてる時に出会ったのかしら」
「だぶんね。もし森に曹官城があったら、鯛や平目じゃなくてデッドヘアが舞い踊ってるかも」

「行ってみたいけど、浦島太郎みたいに玉手箱を開けたとたん、お婆ちゃんになったりするのイヤだよ（笑）」
「確かに……ドラッグはいろいろ問題あるからね。でも彼ら、ヒッピーはもちろんだら、ドラッグばかりやってるワケじゃなくて、ヨガとか禅とか東洋式の瞑想をずいぶんやってるみたいだよ。生と死の本質を意識の深いところで実感して、もともと人生をムビトに生きるライフスタイルなんだよ」

グレイトフルデッドはグレイトフルライフか。コインの裏表みたいなものですね。ガッテン！ ガッテン！ ガッテン！
「ためしてガッテンの山瀬まみのように麻里は、また、コスターを叩きまくりながら言った。



アメリカ西海岸産まれ、デッドヘア。その背景には、多神教的な自然崇拜や輪廻転生の死生観がある。ベトナム戦争や公害問題に苦しんでいた若者たちに、『神教二元論』に基づく科学的合理主義の矛盾を克服するオルタナティブな価値観として広まったのだ。

さて、麻里は木村佳乃にチヨッパ似た感じの美人ギャル。彼女の携帯電話に貼られたデッドヘアのシールを目ざとく見つけ話しかけてから、スッカリ調子よく二本目のビールを呑みあげた俺はかなり酔いが回ってきた。

それから「ヘア」。熊ってぬいぐるみの定番だから、みんな見過ごしてると思うんだけど、熊は森の王者で、海の王者の鯨と同じようにエロシー運動のシンボルなんだ。鯨がいる海、熊がいる森は豊かだったよな」
「デッドヘアは、環境問題も担ってるんですかあ。リウ&ピー

スー！そしてエロシー！ そっけい深いメッセージが込められてるから、母性本能にカチカチくるのかな」

「根源的ないのちの問題だからね。最近、その『愈』のことで改めて思ったんだけど、こないだ紀伊半島の高野山とか那智の滝とか熊野古道とかが、世界遺産に登録されたじゃない」
「コスターを見ましたよ」

明治時代に熊野の自然を開発から守ろうとして、猛然と政府に立ち向かった南方熊楠。みなかたくまくすって、いう有名な博物学者がいて、NHKのその時歴史が動いたでやってたけど、熊楠の行動の原点はその名前にある。愈は熊野の熊。楠は神社の御神体ともなる神木で、自分は森の神さまの申し子だ」と信じていた。だって！

「わかった！ 楠は森の植物の王者でえー、って言うんでは（笑）」

「そう、樟脳の原料になるように虫がつかなくて大木になるしね。番組のなかではふられてなかったけど愈も、例えばアイヌ人が神聖化するように神獣なんだ」

「熊、楠——。正に名は体を表わす」といつ誰どりの人だったんですね。私の友だちにも、そんな人がいるんですよ！ 名前が和憲（かずのり）で平和の命、憲法の愈だから、世界を平和に導く守護神が憑いてるって言ってます！」

「そう言っただけを輝かせた麻里は、デッドヘアの何倍もカワイイ笑顔で俺に見せてくれた。

愛と自然に満ちあふれる平和な世界——。麻里のデッドヘアは、そんな理想郷へ俺を連れて行ってくれる魔法の熊なのかもしれない。

グレイトフル・デッド

Grateful Dead

ジャム・アシッド・サイケなどをキーワードに、1960年代から音楽活動を続け、当時のカウンター・カルチャー（対抗文化）の一翼を担う。

80年代には、全米トップ10入りのヒットを放つなど、アメリカを代表するライヴ・ロック・バンドとなった。



The Official Home Page
<http://www.dead.net/>

ミュージシャン・ユニオン

みづじやん

もつぱちぱち夏のイベントも数少なくなってきた空虚な気分味わってるミュージシャンもいるんじゃないかな？そこで今回は我らの地位向上の為に言いますよ、か、「ヨロカケと言いましょ、一言二言、言わせてもらおうかな…」。

夏が近づくとやたらイベントだ祭りだと出番が増える皆様方ほんとうにお疲れ様でございます。夏は皆さん活躍する季節なのですが。さて皆さんもやたら弦代だとかレンタルスタジオ代とか仕事ほったらかしで仕事は火の車とかで結構大変なんじゃないですか？

そこで、一言いたたいのはステージの上ではそういった我らの苦勞 あえて我らといたしましたはこれっぽちも見えないのですが。早い話がプロであろうとアマであろうとけつ金かかるんだよね。ハートフルなライブ心おける仲間との自主ライブはまあ別としてなんらかの金が発生するとか、営利目的のイベント等はちゃんとギャラを貰えるようにしたいよね。だって音響屋さんとか照明屋さんとかには色々あるだろうけど入ってるんだから。

と言つことは金を貰うからにはやっぱりみんな努力していいステージをやるってことだよ。自主のライブでモヤッばチケットいっぱい売って終わって酒でも酌み交わしたいじゃないですか。

今回は「わへら」で勘弁してやるっかな。

自然とお酒をこよなく愛するヒゲ男の雲のお話

お～い雲2004 碓貴代司パステル作品展

期 日 8月29日(日)～9月30日(木)

会 場 @OCTAVE(オクターブ) 久留米市六ツ門町20-4 光華楼隣 0942-31-5979



お～い雲をテーマに、いつか見たことがある原風景を、自分の中の感動を描いています。少しでも心が安らいでいただけたら幸いです。

今年はパステルのやさしさ、色のきれいさに出会って25年、初個展より10年目の年になります。おかげさまで感謝！！感謝！！です。

お酒はうまい！！いい仲間と飲む酒はもっとうまい！！元気になる！！みなさん、もっとお酒を飲みましょう、いい仲間と！！

碓 貴代司 久留米市御井町2068-6 0942-44-3929

おりじなるそんぐ

夢が現実か幻か

中瀬 亨

あらゆるモノに縛られた あわれ空しいこの時よ
心と心が通い合う そんな時代は来ないのか

遠い昔に見た夢は 眠りを越えて蘇る

俺たちそろそろ歳をとり 裸で歩けたあのころへ
帰ろう 帰ろう 帰ろう

色あせた世界だから 空の色を赤く塗る
色あせた世界だから 雨の色を目に映す
今、欲しいモノは何かいって言われても
すぐには答えられない俺たちだけ

ちよつとちよつとで一息つきたいもんだね
ちよつとちよつとで一息つきたいね

あらゆるモノに縛られた あわれ空しいこの時よ
心と心がよい合う そんな時代は来ないのか



ヴィノサンデーライブ

ヴィノテークでは九月から第四日曜日に
ブルースやロックを中心としたライブを
定期的で開催することになりました。
皆さん、是非おいで下さい。

スタート 一九時三十分 分予定
チャージ 一五円 (ドリンク付)

九月二六日

ゲスト 中瀬 亨 (久留米)

一月二四日

ゲスト FOXY (佐世保)

一月二八日

ゲスト tomifu (久留米)

一月二六日

ゲスト KANJI (久留米)

一月二三日

ゲスト 美和けんじ (北九州)

ヴィノテーク

久留米市日吉町二丁目三六
文化街 第五公建ビル1階
0942-39-1514

* 九月より水曜日定休、
日曜日オープンに変更。

国文祭ライブブレイベント

日時 一月二六日(土)

午後一時～午後八時

会場 六角堂広場

(久留米市六ツ門)

入場 無料

出演 (予定)

内田勘太郎トリオ (メイン)

ヘップニツパイズ

江頭つとむ

ThreeBurt

Squeeze

HEART

SMOKING BOOGIE

中瀬 亨

平田達彦

TOMO

Restive

その他

ジャズセッション

久留米の老舗ジャズ喫茶「ルーレツト」では毎週水曜日の夜にセッションを行なっています。我こそはと思う人は楽器持参でおいで下さい。

場所 久留米市通町

問合せはルーレツトまで

(0942-32-7432)